

大会決議（案）

九州中央自動車道の整備につきましては、日頃から格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。
九州中央自動車道は熊本県・宮崎県を結び、九州の東西軸を担うとともに、地域の活性化をはじめ、九州全体の産業・観光振興や国際競争力の向上など、九州の東西格差の解消とその一体的浮揚に寄与する大変重要な路線であります。

昨年１２月に「平底～蔵田」間の計画段階調査の第１回九州地方小委員会が開催され、さらに今年１月に（仮称）童里トンネルが貫通するなど着実に整備が進められております。

しかしながら、本路線の供用率は約４３％であり、また、計画延長の約９５kmに対し約２３kmは未事業化区間となっております。近年、九州各地で大規模災害が相次ぎ、昨年８月に発生した日向灘沖を震源とする最大震度６弱の地震においては、通行不能となった国道２２０号の代替路として、東九州自動車道が大きな役割を果たし、改めてダブルネットワークの確保の必要性を認識したところです。

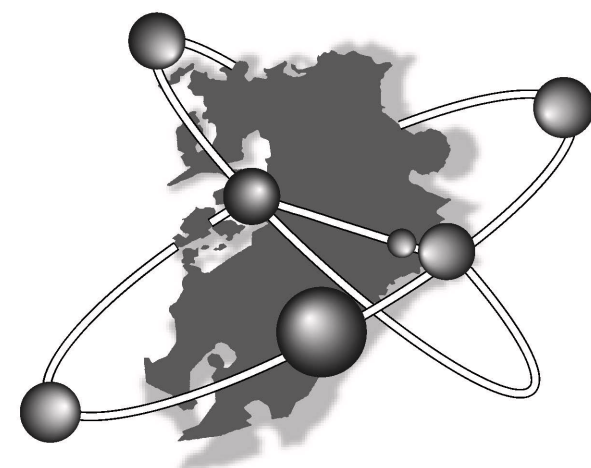
今後、南海トラフ地震の発生も懸念される中、平常時・災害時を問わず、安定的な輸送を確保する道路ネットワークとして、国土強靱化の観点からも早期完成は喫緊の課題であります。

本協議会としましては、国の事業が円滑に進むよう地元調整など最大限協力するとともに、本路線と一体となって道路ネットワークを形成するアクセス道路等の機能強化を図ってまいります。

また、ストック効果を早期かつ広域に発揮させる地域の取組を一層推進してまいりますので、国におかれましては沿線住民の長年の悲願である九州中央自動車道の早期完成のため、次の事項について特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

- 一 地方創生２．０により日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること。
- 一 令和７年６月に策定された第１次国土強靱化実施中期計画により、南海トラフ地震等の災害発生時に迅速な初動対応や早期の復旧・復興を支える災害に強い道路ネットワークとして必要な高規格道路の整備を着実に推進するために、予算編成過程でも資材価格等の高騰等の影響を適切に反映するなど、国土強靱化に必要な予算を満額確保すること。
- 一 令和８年度予算については、道路ネットワークの整備を推進するため、新たな財源等により所要額を満額確保するとともに、本路線へ予算を重点配分すること
- 一 「一般国道２１８号矢部清和道路」、「一般国道２１８号蘇陽五ヶ瀬道路」、「一般国道２１８号五ヶ瀬高千穂道路」及び「一般国道２１８号高千穂雲海橋道路」の事業推進
- 一 計画段階評価が完了している「清和～蘇陽」間の早期事業化
- 一 「平底～蔵田」間の計画段階評価の推進
- 一 道路整備に加え災害時の現場対応や自治体支援において大きな役割を担う国（地方整備局等）の人員体制や資機材の充実・強化

九州中央自動車道建設促進地方大会



日時 令和７年８月２０日（水）１３：００～１５：００

場所 宮崎県「高千穂町武道館」

次第 開会宣言
基調講演
主催者代表あいさつ
来賓あいさつ
来賓紹介
沿線アピール
沿線住民意見発表
大会決議
ガンバロー三唱
閉会

主催 九州中央自動車道建設促進協議会
九州中央自動車道建設促進期成会（熊本県）
九州中央自動車道建設促進期成会（宮崎県）

ごあいさつ



九州中央自動車道建設促進協議会
会長 宮崎県知事

河野 俊嗣



九州中央自動車道建設促進協議会
副会長 熊本県知事

木村 敬

九州中央自動車道は、九州縦貫自動車道や東九州自動車道と一体となって高速交通ネットワークを形成する幹線道路であり、地方創生の実現に向けた様々な取組が進む中、「ヒト」と「モノ」の円滑な移動により地域間格差を是正し、地方の自立と活力ある地域づくりを図る上で、重要な役割が期待されています。

このような中、令和6年12月に「平底～蔵田」間の計画段階調査の第1回九州地方小委員会が開催され、さらに今年1月には（仮称）童里トンネルが貫通するなど、事業の着実な進捗が図られているところであり、本協議会をはじめとする沿線地域の皆様方や、国土交通省など関係機関の皆様に対しまして、深く感謝を申し上げる次第であります。

九州中央自動車道の沿線地域では、新たな工業団地の整備や観光客受入環境の強化・充実など、開通を見据えた地域活性化の取組が活発化しております。また、八代港や細島港と連携した訪日観光客の誘致や物流の効率化など新たなストック効果も期待されるところです。

一方、近年、全国各地で大規模な災害が頻発しており、今後、南海トラフ地震等の大規模災害の発生も懸念されることから、災害時の緊急活動等を支える「命の道」として九州中央自動車道を早期に全線開通させることが国土強靱化の観点から必要不可欠であります。

しかしながら、九州中央自動車道の全線開通については、未だ目処が立っておらず、これまで以上に沿線地域の皆様の熱意や団結力が必要となっております。本大会をはじめとする地域を挙げた取組によって、九州中央自動車道の早期全線開通が実現することを切望しております。



副会長 高野 洋介（熊本県議会議長）



副会長 外山 衛（宮崎県議会議長）



副会長 坂本 靖也（山都町長）



副会長 三浦 久知（延岡市長）

九州東西軸の戦略的かつ効果的な強化を図るための

九州中央自動車道の早期整備

